

②「住宅建設瑕疵担保保証金の不足額の供託についての確認申請書」(別紙含む)

第二号様式 (第六条関係)

(A4)

住宅建設瑕疵担保保証金の不足額の供託についての確認申請書

特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律第5条ただし書の規定により、住宅建設瑕疵担保保証金の基準額に不足する額の供託について確認を受けたく、下記のとおり申請します。なお、当該供託をした後の住宅建設瑕疵担保保証金の供託及び住宅建設瑕疵担保責任保険契約の締結の状況については、別紙のとおりです。

●●年 4月 ●日

届出時の許可番号 国土交通大臣 第●●●●●●●●号  
 商号又は名称 霞ヶ岡建設株式会社  
 郵便番号 ●●●-●●●●●  
 主たる事務所の所在地 ●●県●●市●●町●丁目●番●号  
 氏名 山田 太郎 印  
 電話番号 ●●●-●●●●-●●●●●●  
 ファクシミリ番号 ●●●-●●●●-●●●●●●

許可権者  
 (●●地方整備局長、北海道開発局長、沖縄総合事務局長、●●知事)

●●地方整備局長 殿

記

1 直前の基準日における住宅建設瑕疵担保保証金の基準額

275,925,200円

2 直前の基準日において供託していた住宅建設瑕疵担保保証金について

(1) 金銭の供託

供託所名	供託年月日	供託番号	供託金額
●●法務局	●年●月●日	第●●●●号	176,000,000円
●●法務局	●年●月●日	第●●●●号	74,000,000円
			(計)イ 250,000,000円

直前の基準日までに供託した全ての供託について記載。以下2(2)、2(3)についても同様。

(2) 有価証券(振替国債を除く。)の供託

①国債証券：100%、②地方債証券又は政府がその債務について保証契約をした債券：90%  
 ③上記以外：80% ※割引債については発行価額に別途の算式による額を加え①～③を適用

供託所名	供託年月日	供託番号	名称	回記号	番号	枚数	券面額	券面額計	割合	供託価額
●●法務局	●年●月●日	第●●●●号	●●●●	第12回	312~332	20枚	10万円券	2,000,000円	100%	2,000,000円
●●法務局	●年●月●日	第●●●●号	●●●●	第20回	105~125	20枚	10万円券	2,000,000円	90%	1,800,000円
●●法務局	●年●月●日	第●●●●号	●●●●	第8回	83~133	50枚	20万円券	10,000,000円	80%	8,000,000円
								(計) 14,000,000円		(計)口 11,800,000円

(3) 振替国債の供託

供託所名	供託年月日	供託番号	銘柄	供託価額
●●法務局	●年●月●日	第●●●●号	●●●●●●	14,000,000円
				(計)ハ14,000,000円

(4) 直前の基準日における住宅建設瑕疵担保保証金の合計額

イ + 口 + ハ = 275,800,000円

3 直前の基準日における住宅建設瑕疵担保保証金の基準額に不足する額

125,200円

4 新たに供託した住宅建設瑕疵担保保証金について

(1) 金銭の供託

供託所名	供託年月日	供託番号	供託金額
●●法務局	●年4月●日	第●●●●号	130,000円
			(計)ニ 130,000円

(2) 有価証券（振替国債を除く。）の供託

供託所名	供託年月日	供託番号	名称	回記号	番号	枚数	券面額	券面額計	割合	供託価額
								(計)		(計)ホ

(3) 振替国債の供託

供託所名	供託年月日	供託番号	銘柄	供託価額

				(計)へ

(4) 新たに供託した住宅建設瑕疵担保保証金の合計額

二十ホ + へ =	130,000円
-----------	----------

注 2(2) 及び 4(2) の割合は、第4条第1項各号に掲げる額面金額に対する割合を記載するものとする。

住宅建設瑕疵担保保証金の供託及び住宅建設瑕疵担保責任保険契約の締結の状況について

1 基準日 ●●年 3月 31日

2 住宅建設瑕疵担保保証金の供託について

2-1 1の基準日前6月間に引き渡した建設新築住宅について

(1) 建設新築住宅（その床面積の合計が令第2条に定める面積以下の建設新築住宅又は令第3条第1項に規定する建設新築住宅を除く。）の戸数

供託に係る新築住宅の戸数（「床面積 55 ㎡以下の住宅の戸数」及び「共同請負（※）により引渡した戸数」を除く）  
※瑕疵担保負担割合を記載した建設業法第19条に基づく書面を発注者に交付した場合。以下同じ。

イ 800

(2) ①その床面積の合計が令第2条に定める面積以下の建設新築住宅（令第3条第1項に規定する建設新築住宅を除く。）の戸数

新築住宅のうちで床面積 55 ㎡以下の新築住宅の戸数（共同請負による戸数を除く）

ロ 60

②法第3条第3項の算定特例適用後の戸数（ $\text{ロ} \times 0.5$ ）

ハ 30

(3) ①令第3条第1項に規定する建設新築住宅（その床面積の合計が令第2条に定める面積以下の建設新築住宅を除く。）の戸数

共同請負により引渡した新築住宅の戸数（55㎡以下の戸数を除く）

ニ 137

②令第3条第2項の算定特例適用後の戸数

令第3条第1項の書面に記載された2以上の建設業者それぞれの建設瑕疵負担割合の合計に対する当該建設業者の建設瑕疵負担割合の割合	令第3条第2項の算定特例適用前の戸数	令第3条第2項の算定特例適用後の戸数
5分の3	77	46.2
2分の1	60	30
合計戸数	ニ 137	ホ 76.2

自社の負担割合を記載。割合は「●%」と記載してもよい。

負担割合ごとの合計戸数を記載

特例適用前の戸数×負担割合

(4) ①その床面積の合計が令第2条に定める面積以下の建設新築住宅であつて、かつ、令第3条第1項に規定する建設新築住宅であるものの戸数

ヘ 200

②法第3条第3項及び令第3条第2項の算定特例適用後の戸数

令第3条第1項の書面に記載された2以上の建設業者それぞれの建設瑕疵負担割合の合計に対する当該建設業者の建設瑕疵負担割合の割合	法第3条第3項及び令第3条第2項の算定特例適用前の戸数	法第3条第3項及び令第3条第2項の算定特例適用後の戸数
4分の3	80	30
7分の5	120	42.86
合計戸数	へ 200	ト 72.86

(5) 住宅建設瑕疵担保保証金の算定の基礎となる建設新築住宅の合計戸数

$$\text{イ} + \text{ハ} + \text{ホ} + \text{ト} = \text{チ} \quad 979.06$$

2-2 1の基準日前10年間に引き渡した住宅建設瑕疵担保保証金の算定の基礎となる建設新築住宅の合計戸数

$$\text{リ} \quad 3398.13$$

「1の基準日前10年間に届け出た戸数」 + 「チ」

2-3 1の基準日における住宅建設瑕疵担保保証金の基準額

当該基準日までに供託した全ての供託及び、第一号様式「4 新たに供託した住宅建設瑕疵担保保証金」について記載。以下2-5、2-6についても同様。

$$275,925,200\text{円}$$

2-4 金銭の供託

供託所名	供託年月日	供託番号	供託金額
●●法務局	●年●月●日	第●●●●号	176,000,000円
●●法務局	●年●月●日	第●●●●号	74,000,000円
●●法務局	●年●月●日	第●●●●号	130,000円
			(計)又 250,130,000円

2-5 有価証券（振替国債を除く。）の供託

供託所名	供託年月日	供託番号	名称	回記号	番号	枚数	券面額	券面額計	割合	供託価額
●●法務局	●年●月●日	第●●●●号	●●●●	第12回	312~332	20枚	10万円券	2,000,000円	100%	2,000,000円
●●法務局	●年●月●日	第●●●●号	●●●●	第20回	105~125	20枚	10万円券	2,000,000円	90%	1,800,000円
●●法務局	●年●月●日	第●●●●号	●●●●	第8回	83~133	50枚	20万円券	10,000,000円	80%	8,000,000円
								(計) 14,000,000円		(計) 11,800,000円

2-6 振替国債の供託

供託所名	供託年月日	供託番号	銘柄	供託価額
●●法務局	●年●月●日	第●●●●号	●●●●●	14,000,000円
				(計)ヲ 14,000,000円

2-7 1の基準日における住宅建設瑕疵担保保証金の合計額

ヌ + ル + ヲ = 275,930,000円

3 1の基準日前6月間に住宅を新築する建設工事の請負契約に基づき発注者に引き渡した新築住宅のうち、住宅瑕疵担保責任保険法人と住宅建設瑕疵担保責任保険契約を締結し、保険証券又はこれに代わるべき書面を発注者に交付した新築住宅について

住宅瑕疵担保責任保険法人名	戸数
●●●●保険	365
合計戸数	365

4 1の基準日前6月間に住宅を新築する建設工事の請負契約に基づき発注者に引き渡した新築住宅の合計戸数

1,562

「イ」+「ロ」+「ニ」+「ヘ」+「3の合計戸数」

注1 「建設新築住宅」とは、法第3条第2項に規定する建設新築住宅をいう。

注2 「建設瑕疵負担割合」とは、令第3条第1項に規定する建設瑕疵負担割合をいう。

注3 2-1(3)②及び(4)②の戸数の記載に当たり、小数点以下2位未満の端数が生ずる場合にあつては、当該端数を切り上げて記載するものとする。

注4 2-2の合計戸数は、1の基準日前10年間に届け出た本様式のチの値を合算して算出したものを記載するものとする。

注5 2-5の割合は、第4条第1項各号に掲げる額面金額に対する割合を記載するものとする。